

Q. スマートフォン・携帯電話使用のルールづくりを

A. 各種関係団体と協力し情報交換を行う



ここを聞きました

- 小・中学生のスマートフォン、携帯電話使用について
- 市営住宅について

スマートフォン・携帯電話使用について

長江 県教育委員会が、スマートフォン・携帯電話を午後9時以降保護者に預けることを柱としたルールを設けているが、本市はどのように周知されているか。

教育長 統一ルールを指示した。①親が午後9時以降預かる。②ゲームも午後9時以降預かる。③学校で考える場を設ける。

長江 本市のトラブル発生件数はどうか。

教育長 小学校2件、中学校1件である。スマートフォンは正しく使えば便利で効果が大きい。外部講師の導入等正しい使い方を指導する。

長江 子どもたちが自主性を持って取り組むことが大切だ。成羽中学校では取り組んでいるが他校の

状況はどうか。
教育長 他校でも児童・生徒が話し合い、保護者と一緒に考えて実践が進んでいる。今後、校長会、PTA連合会と協力し生徒会執行部を交えて各校の取り組みの情報交換を行う。



高梁中学校運動会

Q. 「まち・ひと・しごと創生法」本市の取り組みは?

A. 市の方向性に関わることであり、体制を強化して策定する



ここを聞きました

- 高梁市と総社市で締結した包括連携協定について
- 地方人口ビジョンと地方版総合戦略について
- 学校の統合再編について

地方人口ビジョンと地方版総合戦略について

内田 昨年11月、まち・ひと・しごと創生法が制定され、地方自治体は、地方人口ビジョンと地方版総合戦略を策定することとなった。本市はこの政策をどのように捉えて取り組みをするのか。

政策監 本年1月「総合戦略本部」を設置した。全庁的な取り組みが必要で、事務局体制を強化したい。9月を目途に総合戦略を策定する。

内田 地方創生を図るための有効な総合戦略を策定するに当たっては各分野、各関係者からの意見、提案を集約して策定すべきである。特に農業分野における戦略は重要と考える。

市長 これまで国が全て指針を示

している

していた過疎計画などは異なり、自分たちでつくる計画、市の方向性にかかわると認識している。地域の大勢の人の意見を吸い上げたい。

学校の統合再編について
内田 平成28年度から西山小学校は新見市の野馳小学校に編入される。備中学校の生徒数は今後減少していくが、旧川上郡の中学校3校の統合再編については方向性をもって早急な対応が必要ではないか。

教育長 中学校の統合については一定のビジョンを念頭に置いて進めてきた。手順を追って取り組んでいきたい。来年度から、教育委員会が指導性を持って、当該地域での話し合いを進めていきたい。

Q. 不安、反対意見押し切って駅前複合施設や場外馬券場を進めていくことは、本市にとって最大のデメリットになるのでは

A. 市民の皆様十分な説明をし、その中で方向性を決めていく



ここを聞きました

- 公共マネジメント「これからの行政、公務員に求められる資質」とは
- 高梁市の地方創生の基本的方向性とその戦略について
- 創造都市高梁へ向けての潜在的可能性と旧「ゆ・ら・ら」の活用について

「公共マネジメント」公共経営と自治体の労働生産性について

大森 限られた財政、人材の中で、施策のアウトカム(成果)や地域資源を生かした本市の持続可能性の実現が求められている。市長の公共経営について聞く。

市長 行政のあり方も大きく変わってきている。チェック体制を重点にPDCAサイクルを確立した運営をしていく。

大森 公共マネジメントにおける「住民(顧客)の創造」とは、市長のしたいことをするのはなく、住民のニーズはどういったものかを考えることである。それには自治体職員の労働生産性、効率性が重要であると思うが考えを聞く。

市長 多様な市民ニーズに対応するために、職員の人材育成にも力

を入れている。どのようにしたら市民の満足度を上げられるのか、職員と一緒に考えていきたい。

大森 「住民(顧客)の創造」というミッション(使命)が市長と職員の間で共有できているのか。

市長 共有できている。最終の結果責任は私にある。

創造都市高梁への潜在的可能性と旧「ゆ・ら・ら」跡地利用について

大森 場外馬券場では地域の発展性、生産性は限定され、もったいない。施設はサンクコスト(埋没費用)。農業、観光、スポーツなどの自治体と差別化を図りながら「比較優位性」「場所性」を生かした再生を。

市長 これまでの経緯、経過の中の苦渋の決断だ。

市長 これまでの経緯、経過の中

Q. 「ゆ・ら・ら」売却による財政面への影響は

A. 福祉等に利益を充てていきたい



ここを聞きました

- 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について
- 駅前複合施設について
- 県道新見川上線について

川上 議会の「ゆ・ら・ら」検討協議会からの提案をどのように受け止めているのか。

市長 提言書を真摯に受け止め、当時はあの施設を何とか生かそうと方策を検討した。

川上 「ゆ・ら・ら」売却による財政面への影響をどのように考えているのか。

政策監 今後、財政面では厳しくなることが予想される。売却利益や借地料、入湯税、雇用の発生、特産品販売等いろいろなことが生まれてくる。福祉等に利益を充てていきたい。

川上 複合施設の建設は決定と理解しているが、市として議会の理解がどこまで得られていると考えるのか。

川上 複合施設の建設は決定と理解しているが、市として議会の理解がどこまで得られていると考えるのか。

政策監 バスターミナルの位置に建設することは理解いただいていると考える。

川上 CCCとの指定管理について議会と十分な協議をする気があるのか。

政策監 当然、議会と協議していきたいと考えている。

川上 県道新見川上線について高梁市分の改良が進まないのはなぜか。新見市分はほとんど改良が進んでいる。県の情報を持っていればお聞かせ願いたい。

産業経済部長 西部総合開発基幹道として現在協議されている。未改良部分はほとんど高梁市分で6カ所、延長4750mである。また、道路防災事業として7カ所が上げられている。

川上 県道新見川上線について高梁市分の改良が進まないのはなぜか。新見市分はほとんど改良が進んでいる。県の情報を持っていればお聞かせ願いたい。